

日経平均株価

1万6416円19銭

▲632円18銭 (前日比)

TOPIX

1338.97

▲51.44 (前日比)

2016

1/21

木曜日

Marketpress.jp

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

売られ過ぎの主力株に照準

郵政3社は初値近辺に下落

今週の東京市場は昨年9月以来となる日経平均での1万7000円割れとなった。ニューヨーク原油先物(WTI)相場での1バレル30ドルを割れ、一時116円台中央まで買われた為替動向を含めて外的な不透明要因が多いものの、大きく下落した主力株は売られ過ぎといえる。

4000円台で踏ん張る富士重

多くの銘柄で昨年来安値圏へと売り叩かれていたが、為替や原油動向など今回の波乱要因とは全く関係なく全般の地合い悪だけで下げている銘柄も少なくない。その象徴が昨年

11月4日に上場した郵政3社。日本郵政(6178)の上場時初値は1631円、ゆうちょ銀行(7182)の初値は1680円、かんぽ生命(7181)の初値は2929円

上場時からの企業実態には変化がないだけに、売られ過ぎの感はある。一方、円高で大きく売られた輸出系では、富士重工業(7

270)が昨年8月25日の安値3669円を下回らず4000円台を維持、踏ん張っている。スバルブランドの乗用車は米国、カナダ、豪州の2015年暦年小売販売において、過去最高を達成。北米景気の今後の動向には注視する必要があるものの、実態を考慮すればこの水準から一段と売られることは考え難い。

陰の極を象徴する郵政3社の安値



だが、3社とも初値水準まで下落、ゆうちょ銀行については、今月7日の終値時点で初値を割り込んでいる。初値買いをした投資家は評価益が消費された計算になるが、

日経平均日足チャート



週前半の動意銘柄

ソニー踏ん張る

週明け18日、ソニー(6758)が全般波乱下にあつて踏ん張った。この日は一時、2525円まで売られていたが、売り一巡後は押し目買いに戻す動きで、後場に入って53.5円高の2636円まで買われた。

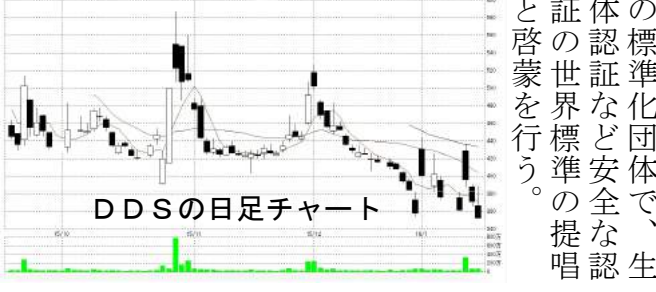
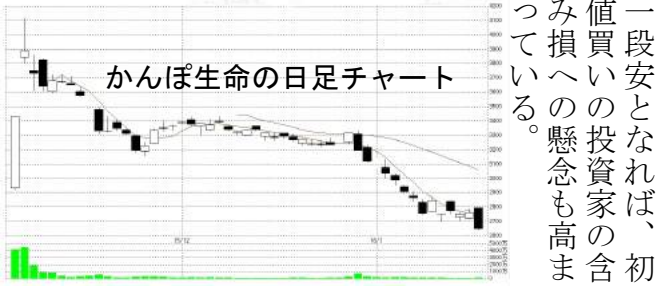
昨年1月の安値2397.5円以来の安値水準で値ごろ感からの押し目買いが活発化しているよう

だ。PS4の好調や1月6日から開催された米国ネバダ州ラスベガスの「2016 International CES」(国際家電ショー)で公開された2016年発売予定の新商品群への期待も高い。



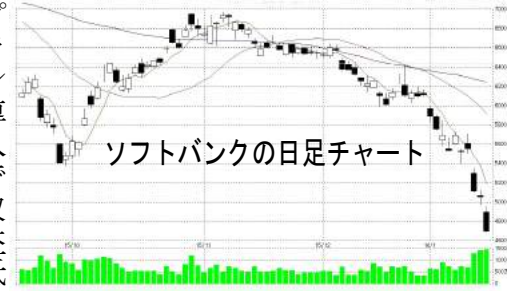
郵政3社売り継続
初値水準の攻防

日本郵政(7181)、日(18)、(6)、(7)、(8)、(1)、(7)、(8)、(1)、(8)の郵政3社が全



ソフトバンク安値

18日、ソフトバンクグループ(9984)が急落、昨年来安値を更新した。主力株が幅広く売られるなかで同社株の下落も全般軟調相場に影響をもたらしている。スマートフォンに関する低価格



プラン導入で収益低下への懸念も根強い。

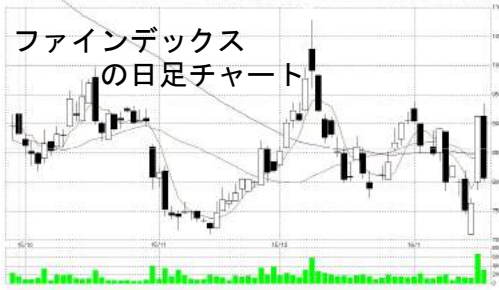
DDS急反発 指紋センサー認証

18日、ディー・エス・ディー(3782)が急反発。15日の取引終了後、新開発の無線接続型・超小型指紋センサーとソフトウェアが米国FIDO Allianceが策定するFIDO 0 UAF認証方式に対する認定を取得したと発表した。

今回認定された指

紋センサーのmagata(マガタ)とミドルウェアのDDSUAF(MAGATMA Authenticator)は、組み合わせることで、iOSとAndroidデバイスにFIDO UAF方式対応の指紋認証機能を提供できる。UAF仕様に基づいてアプリを実装すると認証を利用でき、パスワードレス認証が可能。

FIDO Allianceは、非営利の標準化団体で、生体認証など安全な認証の世界標準の提唱と啓蒙を行う。



19日、ファインデックス(3649)が続騰、前日比145円高の914円ストップ高まで買い進まれ、東証1部値上がり率上位にランキングした。18

ファインデックスは値上がり上位に

前期計画上回り営業33%増益

日引け後、集計中の2015年12月期の単独業績を上方修正したこと、買い気が盛り上がった。前回予想の売上高29億3000万円を29億5100万円(前の期比3.1%増)、営業利益5億1200万円を6億7000万円(同32.5%減)へ。大規模医療システム導入スキル向上と作業効率化で短期導入で収益力がアップした。

サトーHD続急伸

インターネットと革新的IoTソリューションを開発

19日、サトーホールディングス(6287)が続急伸。同社はこの日、子会社でソフトウェア開発のSATOSOLUTIONS(米国・フロリダ州)がインターネットと連携し、小売業向けに、データを駆使して幅広い業務の効率改善をはかるIoTソリューションを開発したことを発表した。ソリューションはほぼ100%の精度で在庫を管理するだけでなく、店舗内業務の効率化、来店客に最先端のショッピングを



16年第2四半期中に欧米市場から提供を開始する予定。発表された。

GMOクラ4カ月ぶり安値

今期営業45%減益に修正

19日、GMOクラウド(3788)が続落、前日比40円安の667円まで売り込まれ、約4カ月半ぶりに昨年来安値を更新した。18日の取引終了後、集計中の2015年12月期連結業績を下方修正した。前回予想の売上高115億5000万円を113億2200万円(前の期比7.9%増)、営業利益8億円を4億7100万円(同44.6%減)へ減額。IAM事業で新サービスリリースが遅延、ソリューション事業で既存のホームページ制作サービスも計



画を下回り、収益性が大きく悪化した。ただ、期末配当は前回公表の通り1株当たり14円を予定。

リボミックS高

抗FGF2が国内特許査定

19日、リボミックS(4591)がストップ高。18日引け後、日本特許庁に出願中の抗FGF2アプタマ(線維芽細胞増殖因子2)に関する物質特許について、特許査定を受けたと発表した。今回査定を受けたのは自社創薬パイプラインであるRBM007(抗FGF2アプタマ)をカバーする特許の一つで、米国に続き国内の権利化にも成功。FGF2は骨疾患、ガン性とう痛、線維症、加齢黄斑変性症など医療ニーズの高い多くの疾患の原因物質と考えられており、現在、欧米の大手製薬企業とのライセンス交渉を進めている。

ハイパー連日の安値

19日、ハイパー(3054)が連日で昨年来安値を更新した。日本経済新聞が19日付で「法人向け情報機器販売のハイパーは、2015年12月期の連結営業利益が前の期比4割減の3億5000万円前後(従来予想は4億円)になったようだ」と報じたことが嫌気された。

ジグソー連日のS高

NMPと自動運転OS共同開発

20日、ジグソー(3914)が前日比705円高の5510円と、前日に続いてストップ高となった。19日にZMPとLinuxをベースにセキュリティやパフォーマンスを強化した自動運転用リアルタイムOS「IZAC・OS」の共同開発を開始したと発表されたことが引き続き材料視。



週前半の動意銘柄

20日、クックパッド(2193)が

クックパッド

S安で半年ぶり安値

創業者と経営路線巡り対立

急反落、ストップ安となる前日比500円安の1863円まで売り込まれ、約6カ月半ぶりに昨年来安値を更新した。19日引け後、創業者で同社株式の43.6%を保有する佐野陽光取締役から株主提案を受けたと発表。佐野氏は多角化など経営路線を巡る対立から、3月の株主総会で穂田誉輝



社長を含む全取締役(佐野氏は除く)の交代を要求しており、経営紛争を嫌気した売りがかさんだ。

すでに同社はIZAC・OS向けオリジナルカーネルを提供しており、今後はZMPと共同で世界でも最も強固な独自OSを開発していくとしている。ZMPは自動運転向け車載コンピュータのOSをIZAC・OSに移行する計画。

サイバネット連続S高

3次元ダイレクトモデラーに期待

20日、サイバネット(4312)が前日比120円高の1850円にストップ高。米SpaceClaim(アンシススペース)

「スクレイム」の最新版「ANSYS SpaceClaim 2016」の内出荷を開始することを発表した。拘束や履歴にとらわれることなく3次元形状を素早く簡単にモデリングできる3次元ダイレクトモデラーで、ものづくりの様々な工程で工数を大きく削減し、コスト削減やリードタイムの期間短縮に貢献できるといふ。

おいしい品質

Q・B・B

Quality's Best & Beautiful

六甲バター株式会社

<http://www.qbb.co.jp>

選べるおいしさQ・B・B ベビーチーズ



テーマ銘柄に**照準**

本命、穴株を探る

中国景気の鈍化や為替の円安頭打ちなどが、インバウンド消費に与える影響が警戒されているが、訪日外国人観光客の増勢にまったく衰えは見られない。東京や富士山、京都、大阪をめぐるゴールデンルートをもろん、テーマパークや温泉景勝地への観光、みかん狩りやマグロ解凍などのイベントへコースは広がり、消

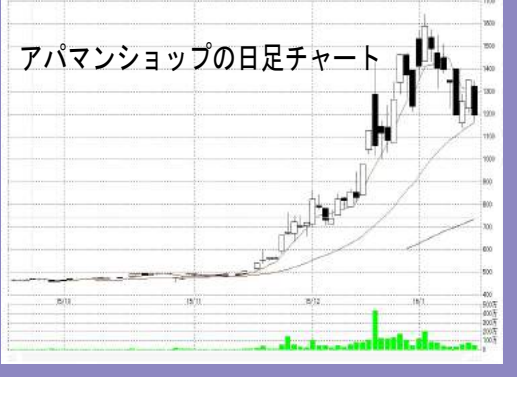
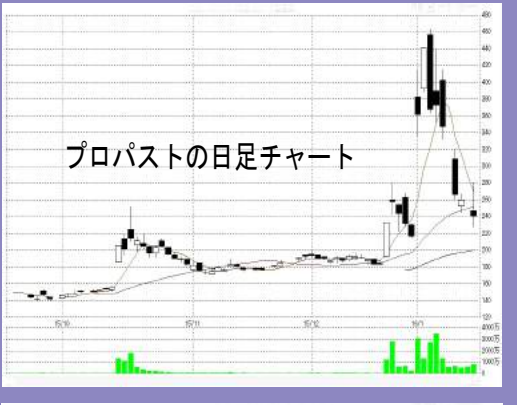
費も増加の一途をたどっている。ただ、一方で問題になっているのが宿泊施設不足。国内ホテルの客室稼働率は前年8月に全国平均で70%を超え過去最高を更新、その後も高水準で推移している。予約を取ろうにも取れないのが実情で、政府は宿泊施設不足解消へ「民泊」の普及をバックアップする構えで、国家戦略特区の特例措置を活用して規制を緩和するなど法整備に動き始めた。

民泊は旅館業法に抵触することから、欧米に比べ普及が遅れている。また、セキュリティの問題などが議論されているが、宿泊施設不足解消には民泊の普及が不可欠で、関連するニュービジネスが登場してきそうだ。株価では賃貸保証サービスなどで外国人借主をサポートするAMBITION(3300)が関連銘柄をリード。共同銘柄プロジェクトで民泊プロジェクトを開始したプロパス(3236)、シノケングループ(8909)や民泊関連情報サイトを立ち上げたアパマンショップ(1435)や、プロホールディングス(8889)も水準を切り上げた。今後は不動産情報サイトを運営するネクスト(2120)、スターツコーポレーション(8850)、レオパレス21(8848)のほか、中エックしていきたい。

関連ニュービジネスに期待

不動産情報など参入企業続々

民泊普及へ 政府法整備 宿泊施設不足を解消



星野三太郎の 株街往来 ～「訴える力」～

某テレビ局の視

聴率低迷が話題となっていたが、この数年はバラエティ番組ばかりが増えて、筆者もBSで放送されている海外の紀行番組を見ることが主になっていた。

それでも最近ではTBS系の「下町ロケット」や現在放送中のNHKの連続テレビ小説「あさが来た」は共感を得るものが多く、忙しいときにも録画して見るようにしている。

筆者の父が東大阪の町工場の社長だったので、中小企業の経営者が主人公の「下町ロケット」はとても身近な出来事を感じて見ていた。重中小企業の経営は、営業から資金繰りなどすべて自分自身でやっている場合が多く、自宅に帰る日が少ない父との会話が少なかったことを、今では後悔している。

ドラマでは、社長を支える社員や周囲の存在が光っていた。父の会社の経営が悪化したときも、最後まで行動を共にしたわずかな社員の支えが大きかったことを思い出した。ひとりでは無理でも支えあえば、乗り切れることがある。

視聴者に訴えるものがあれば、多くの人がそれを支持するだろう。これは、TVだけでなく、どの業界にもいえること。

常に訴えられる力を持って行動したい。



バイオとモンハン今年も登場

カプコン

ユニバーサル・クール・ジャパンに

企業レター

カプコン(9697)の大人気ゲーム「モンスタースターハンター」と「バイオハザード」が1月15日から期間限定で開催しているユニバーサル・スタジオ・ジャパン(大阪市)のイベント「ユニバーサル・クール・ジャパン」に今年も登場した。

「ユニバーサル・クール・ジャパン」は日本が生み出した世界的に高評価を受けているマンガ、アニメ、ゲーム、音楽やファッションといった幅広いエンターテインメント・ブランド

クシオンとして実現するイベント。

今回で2回目となるイベントでは「エヴァンゲリオン」と「進撃の巨人」に加えて、「ユニバーサル・クール・ジャパン」2016特命大使」に選ばれた、きやりーばみゆばみゆさんの「きやりーばみゆばみゆXRリド」とともに同社の2タイトルがアトラクションが登場、圧倒的なスケールとクオリティでブランドの世界観をリアルに再現している。

「バイオハザード・ザ・エスケープ2」は昨年好評を博したSCRAP社(東京都)とのコラボによる「スーパリアル脱出ゲーム」の完全新作で、バイオハザードの恐怖感を再現、予測不能に登場する数々のミッションや高度になった謎に参加者が立ち向かう内容。

また、「モンスタースターハンター・ザ・リアル」は、シリーズ最新作のニンテンドー3DS向け「モンスタースターハンタークロス」の世界観を再現、黒煙王「リオレウス」と金雷公「シンオウガ」が等身大で登場、斬竜「デインバルド」にも乗れる内容となっている。ゲームソフトの拡販にも追い風になりそうだ。

リアルに再現された斬竜「デインバルド」



【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。